



日本遺産

鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴

～日本近代化の躍動を体感できるまち～



JAPAN HERITAGE

日本遺産



入船山記念館



旧呉鎮守府庁舎



アレイからすこじま



呉

戦艦「大和」建造から75年、
呉のまちにはものづくりの技術が今も息づく

山と島々に囲まれた広島県南西部のまち、呉。かつて「東洋一の軍港」として栄えたこのまちは、「日本一の海軍工廠のまち」でもあり、今日でも戦艦「大和」建造の地として知られています。

明治22年に呉鎮守府が開庁し、明治36年に呉海軍工廠が設立された呉は、瀬戸内海に位置して防御に堅く、「海軍第一の製造所」と位置づけられて全国から技術者が集められました。また、「技手養成所」をはじめ工員教育が盛んに行われ、ものづくりの達人たちが養成されました。呉工廠の高い技術力は、世界最大の戦艦「大和」の建造によってその集大成を迎えました。

終戦による海軍の解体後、呉市は平和産業港湾都市への転換を目指し、積極的に旧軍用財産の転活用を図って復興を遂げました。海軍工廠時代の施設の中には現在も稼働する施設が残っており、その技術は造船を中心とした「ものづくりのまち」呉に今も息づいています。

KURE



呉市

日本遺産 (Japan Heritage) とは 文化庁が平成27年度に創設した事業で、日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、国内外に広く発信していくものです。